

地球のワクワク！発見しよう

こどもエコクラブ

私が主役！なかまと一緒に未来をつくる

2019年度 事業実施報告書



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局

<後援:環境省>

はじめに

2015年に国連で採択された持続可能な世界を実現するための17のゴールからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」は、今や多くの企業や団体に認知されています。既存の活動をSDGsの項目に単純に当てはめるだけではなく、経営戦略に組み込んで本気で取り組む企業も増えてきました。社会全体が持続可能な方向に舵を切りつつある今、それを推進するための人づくりはますます重要になってきています。

2018年4月に閣議決定された第五次環境基本計画では、SDGsや温室効果ガスの実質排出ゼロを目指す「パリ協定」を受けて、新たな文明社会に向けた大きな考え方の転換(パラダイムシフト)が謳われています。そのカギとなるのが、各地域がその資源を活かした自立・分散型の社会を形成し、その特性に応じて補完し支え合う「地域循環共生圏」です。

こどもエコクラブは、子どもたちの主体的な環境学習・環境活動を20年以上にわたり支援してきました。クラブによる地域の環境をよりよくするための取り組み全てがSDGsのいずれかの項目に位置づけられるものであり、「地域循環共生圏」の創造に向けた取り組みであるといえます。2019年度は1,868クラブが登録し、101,694人の子どもたちが全国各地で様々な環境活動に取り組みました。65の企業・民間団体が協賛、寄附およびプログラムの共同事業等でご支援くださったほか、521の地方自治体に地域事務局として地域活動を支援いただきました。

こどもエコクラブでは、クラブから提出された活動レポートや壁新聞に専門の先生からのコメント・助言をお返しすることでクラブの活性化・活動のステップアップを支援しています。また、アンケートやヒアリング等を通じて把握した各クラブの特徴やニーズをデータベース化し、それに基づききめ細かなサポートを実施していきます。

新型コロナウイルスによる感染症が2020年の年明け以降世界各国で爆発的に広まっており、日本でも学校が一斉休校となるなど子どもたちの生活にも大きな影響が出ています。こどもエコクラブも最大のイベントである全国フェスティバルの中止を余儀なくされました。わずか1~2か月のうちに世界中が大混乱に陥ったことや未だ収束の見通しが立たない現在の状況をみると、世界の人たちの関わりやつながりがより密接になっていること、私たちはまさにこの「宇宙船地球号」の乗組員であることを実感します。これからもこの地球で生きていくために、まずはSDGsの達成に向けて世界の国々が協力しなければなりません。その中心的な役割の担う未来の大人たちを育て、その輪を更に大きく広げていくために、こどもエコクラブ全国事務局は、多様な組織や人の参画と協力のもと、全国のクラブの活動を支援するとともに事業を継続・発展させる取組を2020年度以降も推進して参ります。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

こどもエコクラブ全国事務局



目次

◎ はじめに	3
◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション	5
◎ 2019年度のハイライト	6
◎ 事業報告	10
○ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり	10
(1) こどもエコクラブの認知度向上	
(2) こどもエコクラブへの登録促進	
○ 環境活動・学習の活性化促進	16
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	
(2) 教材・プログラムの提供	
(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック	
(4) 企業との協働推進	
(5) All Japan Youth Eco-club	
○ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	25
(1) 地域活動活性化	
(2) 全国規模での交流と顕彰	
(3) 他団体からの表彰	
◎ 地域事務局の取組事例	29
◎ 協賛・協力いただいた企業・団体	34
◎ 登録データほか	35
◎ エコ活コンクール 受賞作品	39

◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、幼児(3歳)から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

◎ ビジョン(=理想の未来)

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

◎ ミッション(=なすべきこと)

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

上記のビジョン・ミッションの下、2019年度は、

- 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり
- 環境学習・環境活動の活性化
- 環境学習・環境活動の意欲の向上・ステップアップ

の3つの柱を掲げて様々な活動に取り組んできました。



2019 年度のハイライト

◎ こどもエコクラブと SDGs

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015 年に国際連合が定めた持続可能な世界を目指すための目標のことで、2030 年までに実現すべき社会の姿が 17 のアイコンで表現されています。こどもエコクラブが各地で実施している活動は、そのすべてが SDGs の項目に位置づけられるといえます。残念ながら中止となりましたが、全国フェスティバルでは SDGs をテーマにしたプログラムを実施する予定であり、代替として制作した冊子 (P.27) も SDGs を切り口に編集しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今年度クラブが実施した活動の中からいくつかご紹介します。

(1) 小野幌エコクリーン (北海道札幌市)

パックテストのキットを使って、水道水、雨水、公園の水や近くを流れる川の水などの水質調査を行いました。農薬や肥料、生活排水などによる汚れはほとんどなく、きれいな水だということがわかりました。

川での生き物調査では、ヒラタカゲロウやヨコエビなどきれいな水に生息する生き物が見られたほか、ヤマメの赤ちゃんや北海道にしかないフクドジョウも観察され、大都市を流れているにもかかわらず豊かな自然が残されていることが確認できました。



(2) 大津こども環境探偵団 (滋賀県大津市)

自分たちの住む町の中をめぐり、「残したいもの」や「より良くしていきたいもの」についてグループでまとめ、発表しました。古い建築物や町を守る建物を残していきたい、外来種が生息する川を何とかしていきたいなど様々な意見が出ました。

普段見慣れた町の景色も、ゆっくりじっくり歩いてみることで新しい発見がありました。もっと町をよくしていくために地域のボランティアに参加したいというメンバーもいました。



(3)浜松グリーンウェーブ株式会社(静岡県浜松市)

ドライバーやペンチを使ってパソコンを分解し、どれだけの金属が部品に使われているかを自分の目で確認した後、部品がリサイクルされる手順について学びました。

ねじがうまく外せないなど最初は苦戦しましたが、慣れてくるとスムーズに分解できるようになりました。外国製の部品が多いことや純金が使われていることに驚きの声があがり、金の値段について質問するメンバーもいました。貴重な資源が含まれていることを実感し、リサイクルの重要性を理解することができました。



12 つくる責任
つかう責任



(4)魚と子ども Kids クラブ(三重県亀山市)

市内にある池の水を抜き、専門家の指導の下、生き物調査を行いました。何十年も池干しをしていなかったため泥が厚くたまり、歩くだけでも大苦戦でしたが、メンバーの子どもたちは顔まで泥だらけになりながら楽しんでいました。



タモロコ、モツゴ、フナ、ドジョウなどの魚のほか、日本の固有種であるイシガメもたくさん確認されました。心配されていた外来魚は見つかりませんでした。最後に専門家の先生から地域の生態系についてのお話を聞き、生き物同士のつながりを守ることの大切さを学びました。

15 陸の豊かさも
守ろう



これらの例からもわかるとおり、クラブが普段の活動を続けていくだけでSDGsへの貢献になっているわけですが、SDGsを意識してみるとその活動が世界的な目標ともつながっていることが実感でき、もっともつがんばろう!!という意欲が湧いてきます。つまり、活動を通して子どもたちのやる気を高め、「未来を創る力」を育むこともエコクラブの取り組みそのものが、目標4の「質の高い教育をみんなに」に貢献しているといえるでしょう。

4 質の高い教育を
みんなに



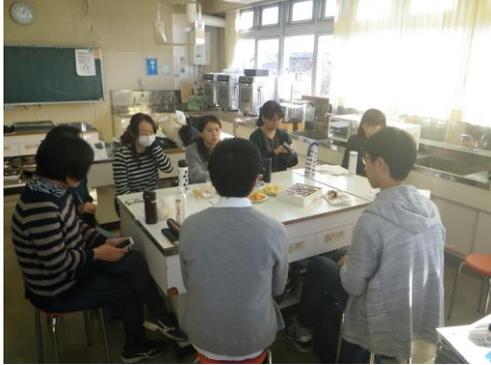
そしてこれらの土台になるのが目標17の「パートナーシップで目標を達成しよう」です。地域の人たちや企業・団体がSDGsを自分ごととして考え、ともに行動を起こすことによってこそ、持続可能な社会を地域で、日本で、そして世界で実現することができるのです。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



◎「こどもエコクラブ協働プログラム」の開始

クラブのサポーターや地方自治体の担当者(コーディネーター)がクラブの活動や地域の環境施策を盛り上げるために実施するイベント等に対し、全国事務局が伴走支援を行う「こどもエコクラブ協働プログラム」を新たにスタートしました。2019年度は5件の申し込みがあり、佐賀県事務局と東京都新宿区のクラブ「こどもエコ広場新宿」の提案を採択、活動を実施しました。また、福岡県については2020年度より本格的な活動を開始します。

	佐賀県	こどもエコ広場新宿
時期	2019年10月29日	2019年8月～2020年1月
内容	サポーター交流会「エコキッズのためのミーティング」の実施と「幼年期からの環境教育・食育研修会」の中でのこどもエコクラブ事業紹介	青梅市、埼玉県宮代町のクラブと合同での活動(8月)、サポーター交流会(11月)、クラブの交流会(1月)を実施
当日の様子	 <p>エコキッズのためのミーティング</p>  <p>環境教育・食育研修会</p>	 <p>サポーター交流会</p>  <p>クラブの交流会</p>
成果	クラブの交流・情報交換を促進し、自律的な活動の支援につながった。また、研修会の事例を参考に自身の施設でも活動したいという声や、受講をきっかけにこどもエコクラブに登録した保育園もあった。	一連の活動を通して、子どもたちが地域を越えて交流することができた。また、サポーター同士の情報交換により、活動内容だけでなく広報や経理など運営面での工夫や課題なども共有することができた。

協働プログラムでは、将来的にクラブや自治体が自力でそのイベント等を実施できるようになることをめざしています。全国事務局は今後も新たな募集を継続し、各地の工夫を凝らした取組をともに汗をかきながら支援していきます。

◎ 「国連生物多様性の10年」とクラブメンバーの10年

こどもエコクラブでは、国際生物多様性年の2010年に国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J)が主催した「想いでつなごう！COP10 おりがみプロジェクト」に参加しました。その際、全国のクラブが生き物へのメッセージを書いた折り紙を集めて、タイムカプセルに入れてCOP10で展示し、子どもたちがイベント取材しました。

この度、10年間の取組みを振り返り未来へつなぐ「あいち・なごや生物多様性EXPO」が開催され、今やユース世代となった当時のメンバーが、全国から集められた73,971個ものメッセージがつまったそのタイムカプセルを開封して、現在の自分たちの活動を発表しました。

「森を守ろう」「10年後も大好きな昆虫がすむ自然いっぱいのもままであってほしい」など、自然や生き物への思いや「海にごみをすてるな」「地球温暖化が改善されていますように」などいまだに大きな問題である内容など、当時の子どもたちのメッセージは今の私たちにも響くものも多く、来場者のみなさんにもこれまでの取組や未来の環境について考えるきっかけとなっていたようです。また、当時のメンバーが立派なユースとなってブースで説明していると知ると、みなさんビックリ！10年間という時間の流れについても実感してくれていました。



ユースはステージでも現在の活動の様子を堂々と発表。カワセミの観察をきっかけに、その生態や生息環境の水質についてなど、どんどん興味がわいてきたこと、COP10イベントの取材を通じてより一層生き物や環境に関心が出てきたこと、今でも地域の自然や森林保護活動などに参加しているほか、こどもエコクラブの卒業生からなる「All Japan Youth Eco-club」にも参加して現役メンバーのサポートをしていることなどを伝えると、その頼もしい活動ぶりに来場のみなさんから称賛の拍手が上がりました。

これらユースの活躍は、当時子どもだったメンバーが、この10年で、自ら考え、行動し、周りに発信する次世代のリーダーとして立派に成長していることを多くの人に知らしめるものであり、こどもエコクラブの社会的な成果の一つとなっています。



事業報告

◎環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり

(1) こどもエコクラブの認知度向上

◎ウェブサイト、SNSを通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2019年度の合計ページビュー:587,272PV

2019年度の合計訪問者数:172,016 ユーザー



また Facebook や Twitter を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。



Facebook「いいね！」:1,232件

フォロワー:1,257人(2020年3月)



各地域担当別 Twitter
地域に合わせた情報を発信
合計フォロワー数:2,599人

◎外部メディアの活用

環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブや、地方紙等へのプレスリリースを行いました。壁新聞の受賞の話題を中心に各紙・メディアに記事が掲載または放映されました(主なものを抜粋)。

【新聞・テレビ】

メディア名	日付	記事・番組タイトル
真岡新聞	2019年4月5日	エコ活動紹介する壁新聞が全国入賞 真岡児童館やさしくラブ
高知新聞	2019年4月15日	香美市エコ壁新聞 全国一 舟入小5年の2人 活動紹介
胆江日日新聞	2019年5月19日	里山が教材、心育む(みずさわエコキッズ(岩手県奥州市))
フジテレビ系	2019年5月26日	〇〇発 東京行き(上津探検隊(島根県出雲市)の全国フェスティバル参加に同行)
北海道新聞	2019年6月20日	歴代の活動 壁新聞で紹介(こどもエコクラブくしろ(北海道釧路市))
釧路新聞	2019年6月20日	釧路湿原の魅力発信(こどもエコクラブくしろ(北海道釧路市))
茨城新聞	2019年7月4日	ホテルの生息地保全(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
毎日新聞	2019年8月19日	身近な自然守ろう 83人参加千波湖環境学習会(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
読売新聞	2019年8月26日	「環境教育賞」決まる(大阪市立新北島中学校科学技術部(大阪府大阪市)・西表ヤマネコクラブ(沖縄県竹富町))
NHK	2019年8月14日	日本の里山(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
茨城新聞	2019年9月11日	千波湖浄化に最優秀賞(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
読売新聞	2019年9月28日	環境教育賞 3校優秀賞(大阪市立新北島中学校科学技術部(大阪府大阪市))
北陸中日新聞	2019年11月10日	ホテル保護 光る取り組み(高岡市立中田中学校科学部(富山県高岡市))
中京テレビ	2019年11月30日	吉田沙保里のまるみえ検定(三重中学校・三重高等学校科学技術部(三重県松阪市))
読売新聞	2020年1月30日	中1小島君最年少で温暖化防止推進員に(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
毎日小学生新聞	2020年2月16日	地球となかよしメッセージ 入賞者決まる(チーム YKM(静岡県御殿場市)、ぼぼぼくらぶ(大阪府守口市))
読売新聞	2020年2月29日	南三陸町の新聞が環境大臣賞(南三陸少年少女自然調査隊(宮城県南三陸町))
北海道新聞	2020年3月25日	エコ壁新聞で消費者庁長官賞(オホーツクエコクラブ(北海道北見市))
熊本日日新聞	2020年3月26日	益城の湧き水、調べたよ 広安西小「エコ活」壁新聞 全国最優秀賞(広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)(熊本県益城町))



釧路新聞
(2019.6.20)



茨城新聞
(2020.3.11)

【自治体広報紙・ウェブサイト】

自治体名	発行/ 掲載時期	記事タイトル
茨城県水戸市	2020年1月	新年のごあいさつ(逆川こどもエコクラブ)
千葉県市川市	2019年度	令和元年度いちかわこども環境クラブ
静岡県	2020年3月	教育委員会広報紙「ふじのくにユースネット」 まぎのはら水辺の学校(牧之原市)
大阪府高槻市	2019年5月	街フォト「柱本保育園こども未来学舎が「全国エコ活コンクール」壁新聞幼児部門で受賞」
大阪府高槻市	2019年12月	大掃除のごみ、どこへ行く?(柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー)
兵庫県神戸市	2019年度	KOBE こどもエコクラブ
福岡県	2019年8月	こどもエコクラブ京築生きもの探検隊を開催しました!!
福岡県	2019年11月	こどもエコ体験&自然かんさつ塾を開催しました!!
福岡県春日市	2019年8月	こどもエコクラブ交流会開催報告
長崎県佐世保市	2020年1月	一人一人が環境保全を意識して自分でできる取り組みを(だいやエコクラブ)



「広報みと」(2020年1月号)



「ふじのくにユースネット」(2020年3月号)



高槻市ウェブサイト



「広報させぼ」(2020年1月号)

【その他】

媒体名	発行時期	記事タイトル
プレスリリース(アース製薬)	2019年4月	「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2019」出展レポート
ミリカ(高知新聞社)	2019年4月	地球を守るためにできることって何だろう? 自分たちで考え行動する「香美市こどもエコクラブ」
BXグループ CSR 報告書 2019(文化シャッター)	2019年8月	こどもエコクラブの活動をパートナー企業として支援
CSR ニュース (バンダイナムコホールディングスウェブサイト)	2019年8月	バンダイナムコグループ CSR 活動 「千波湖環境学習会」活動に参加
しんくみ(全国信用組合中央協会)	2019年10月～3月	地域のワクワク!育てよう こどもエコクラブ(全6回)
経済の伝書鳩(オホーツクのフリーペーパー)	2020年3月	全国エコ活コンクールで消費者庁長官賞(オホーツクエコクラブ(北海道北見市))



ミリカ 4月号
(高知新聞社)



しんくみ
(全国信用組合中央協会)



経済の伝書鳩 2020年3月7日
(伝書鳩)

自主的な環境保全活動

● こどもエコクラブの活動をパートナー企業として支援 ●

文化シャッターでは、公益財団法人日本環境協会が主催する「こどもエコクラブ」の活動に賛同し、2013年よりパートナー企業として支援しています。子どもたちが1年間のエコ活動を新聞や絵日記をもとに紹介し合い、全国の仲間たちと学び交流する「こどもエコクラブ全国フェスティバル」には、継続して当社環境配慮製品テコムクを「見て・触って・体感できる」ブースを出展しています。

2019年3月に実施された全国フェスティバルには、全国から450名の子どもたちが参加しました。当社ブースでテコムクの製造過程である木粉やペレット、原料となる粉砕されたプラスチックに触れた子どもたちからはさまざまな質問が寄せられ、環境に対する関心の高さと熱心さを感じました。未来を担う子どもたちが、自ら進んで環境問題に対して取り組む「こどもエコクラブ」の活動を、今後も継続して支援していきます。



「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2019」集合写真

from STAKEHOLDER 大西 真真 様

「こどもエコクラブ」は、3歳から高校生までどなたでも参加できる環境活動のクラブです。環境について子どもたち自身が考え、生き物観察や清掃活動などさまざまな取り組みを地道の中で実践しています。全国フェスティバルは、価値体験の代わりが揃った発表発表や交流を行うこどもエコクラブのメインイベントで、文化シャッターには2014年度からブースを出展いただいています。テコムクなどの先進的な環境技術を取り組みに貢献することは、子どもたちにとってよい学習になるとともに、自らの活動の継続・発展に向け意欲を高める機会にもなっています。こどもエコクラブではこれからも、持続可能な社会の主体となる子どもたちの育成に取り組んでまいります。

公益財団法人
日本環境協会
こどもエコクラブ
全国事務局長

こどもエコクラブ 公式サイト <http://www.j-ecoclub.jp/>

BXグループ CSR 報告書 2019
(文化シャッター)

◎イベント等への出展・参加

関東地方を中心に、自治体や団体が主催する環境イベントに参加・出展しました。参加者に楽しいプログラムを提供しながら、こどもエコクラブの紹介と勧誘を行いました。

実施日	イベント名	主催者	内容
2019年 8月7、8日	こども霞が関見学デー	環境省	フォトコンテスト作品展示、 エコみくじ
2019年 9月14日	環境デーなごや2019	名古屋市	おりがみタイムカプセルの紹介(愛知県のクラブが担当)
2019年9月19日 ～11月9日	みんなのイチオシ★壁新聞 in GEOC	地球環境パートナー シッププラザ	壁新聞展示・投票
2019年 10月5、6日	GTF グリーンチャレンジデー 2019 in 新宿御苑	グレータートウキョウフェ スティバル実行委員会	生き物クラフトづくり(千葉県 のクラブが担当)
2019年 12月7日	SAITAMA 環境フェア & こどもエコフェスティバル	埼玉県	牛乳パックでクリスマスBOX 作り(ユース・埼玉県のクラブ がサポート)
2019年 12月5～7日	エコプロ2019	一般社団法人産業環境 管理協会、 日本経済新聞社	壁新聞展示・積み木占い
2020年 1月11、12日	あいち・なごや生物多様性 EXPO	国連生物多様性の10 年日本委員会ほか	おりがみメッセージ展示、ス テージ発表(ユースが担当)
2020年 1月25日	新宿の環境学習応援団 まちの先生見本市	NPO 法人新宿環境活動 ネット	積み木占い「めくってエコア クション！」
2020年 2月2日	第19回草津市こども環境 会議	草津市こども環境会議 実行委員会	壁新聞展示



こども霞が関見学デー



GTF グリーンチャレンジデー2019 in 新宿御苑



エコプロ2019



あいち・なごや生物多様性 EXPO

◎広報ツールの貸出

地方自治体等に、広報ツール(前年度に子どもたちが年間の活動をまとめた壁新聞、エコまる旗、エコまる着ぐるみ等)を貸し出しました(旗:6ヶ所、エコまる着ぐるみ:5ヶ所、壁新聞 14ヶ所)。



壁新聞



エコまる旗・着ぐるみ

(2) こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児(3歳)から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人(サポーター)で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

2019年度の登録数は、クラブ数:1,868クラブ、メンバー数:101,694名、サポーター数:15,830名で、これまでの延べ登録メンバー数は約260万人となりました。

また、登録数の増加を目指し、以下のような取り組みを行いました。

◎ポスター・パンフレットの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、チラシを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、チラシについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードすることができるようにしました。



ポスター



チラシ

◎メンバーズバッジの配布

こどもエコクラブメンバーの証であるメンバーズバッジを、登録したクラブメンバーへの特典として配布しました。子どもたちの一体感醸成と活動のモチベーション向上に役立っています。



※クラブの個人情報は弊協会プライバシーポリシーにのっとり、適切に管理しています。

※都道府県別登録数、学年内訳等は、P.35「登録データ」を参照。

◎ 環境活動・学習の活性化促進

(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向けコンテンツとして、助成金情報や地域別のイベント情報の掲載を行っています。また、「リアルヴォイス」と題して、各地で充実した活動を行っているクラブの紹介や、メンバーたちの先輩であるクラブのOB・OGの方へのインタビューなどを掲載しています。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターインフォメーション」を月2回配信しています。



リアルヴォイス

(2) 教材・プログラムの提供

◎手帳、エコカード等の作成・配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳を希望するメンバーに実費頒布しました。また、小学校入学前のメンバーを対象としたツール「ぼくの/わたしのエコカード！」を希望する未就学児がいるクラブに送りました。

サポーター(大人)向けには、事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」を新規登録クラブに配付しました。



メンバー手帳



エコカード



応援マニュアル

◎全国一斉活動

東京 2020 応援プログラムとして、「土」をテーマにして全国の子どもエコクラブの仲間が一斉に取り組む活動「大地を感じ・大地を知るジオアクション JAPAN」を実施しました。全国共通ジオアクションである泥だんご作りのほか、興味のあるものを選んで自由に取り組める6つのプログラムをウェブサイトで提供、多くのクラブに参加していただきました。



ぐんまふじおか子どもエコクラブ
(群馬県藤岡市)



せいわエコクラブ
(大阪府大阪市)



明治幼稚園子どもエコクラブ
(福岡県大牟田市)

◎ウェブサイトでのプログラム提供

ウェブサイトでは、「どんな活動をしたらよいかわからない」というクラブのために、誰でも簡単に取り組める活動プログラムを自然や生活などのテーマごとに提供しています。特に今年度は「生き物」をテーマに、オススメのプログラムを3回に分けて紹介しました。



◎プログラム・講座の実施

自治体やクラブの要望を受け、環境学習プログラムや講座を実施しました。



環境講座「エコビル探検隊」(東京都中央区)

(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック

◎エールメッセージ

クラブから寄せられる活動レポートに対して、応援団(環境カウンセラーや協会のこども環境相談室・相談員等の環境に知見のある有識者)からのエールメッセージ(活動の発展につながるコメントやアドバイス)を、投稿後2週間以内を送付しています。2020年度は1,009件の投稿があり、その全てにエールメッセージをお返ししました。

<掲載例>

○芋掘り・秋の虫観察

二畝分の芋掘りを実施した。

畑の虫観察(ケラ、ゲジ、クツワムシ、コオロギのあかちゃん、コガネムシの幼虫)と近隣の公園(蛾、蝶、カマキリの卵)で秋の虫観察を行った。

参加者のようす

芋掘りが楽しそうだった。

畑の土の中にいる虫を見つけてびっくりした。

感想・気づいたこと・考えたこと

大きい芋は深い所まで周りの土を掘る必要があるので難しかった。

芋を掘っている途中、幼虫が芋にくっついているのでビックリした。生きているケラを初めて見たので嬉しかった。

幼虫がいっぱい取れたのが嬉しかった。



○コメント



上野エコクラブのみなさん、こんにちは。秋らしい活動のレポートありがとう。

ケラやコガネムシはサツマイモが好きだということなので、みなさんの作ったサツマイモを味見しにきていたのかもしれないですね。

今回みなさんが観察した小さな生き物たちですが、思いがけずたくさんいることがわかりびっくりしたでしょう。畑や公園をなんとなく上から見ているだけではわかりませんよね。みなさんのように(土をほったりして)見る場所を変えてみたり、注意してよく観察したりすることで、発見できるのですね。

さてクツワムシやコオロギは鳴く虫としても有名です。みなさんはこれらの虫の鳴き声を聞いたことがありますか？そしてどうして虫は鳴くのでしょうか。鳴く虫ってほかにもいるのかな？今回見つけた虫たちが、ふだんどのようなくらしをしているのか、考えてみるのもおもしろそうだね。

サツマイモを食べた感想もぜひ教えてください。これからの活動も応援しています。

◎壁新聞道場

2019年度に提出された、1年間の活動をまとめた壁新聞全157作品に対して、環境に知見のある有識者(環境カウンセラーやこども環境相談室・相談員等)による、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを付し、「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました。



師範から一言！

しんぶん全体に生きもののイラストやおりがみがあって、にぎやかでたのしさが伝わってきます。

水辺の観察ではオタマジャクシやカエルがたくさんいたようですね。カエルはどんな色をしていて、体にもようなどがありましたか？大きいカエルがルだったようですが、よくしているモノとくらべると、どれくらい大きかったのかが分かりやすいです。たとえば、手をグーにした大きさとくらべてみるとどうかな？このようなことをじっくり観察すると、あとでしらべたときに種類(しゅるい)が分かると思います。絵をかいてくるのもいいですね。

ヒラタカゲロウとタニガワカゲロウのちがいをよく観察しているなあ、と感心(かんしん)しました。ほとんどのカゲロウは尾(お)が3本ですが、ヒラタカゲロウは2本なのでみわけやすいですね。

とっておきのゴシドウ★

ホタルをたくさん見たり、手の上で観察したりして、心にのこる体験ができましたね。とんでいるすがたは光が動いているようにしか見えませんが、手の上で観察するとおしりがと光っていることに気づいたと思います。どんな光り方をしましたか？ホタルの種類(しゅるい)によっても光り方がちがうので、またこんど光り方も観察してみてください。

ホタルは光ることによって、なにをしているのかな？人は言葉(ことば)をはなすことができますが、ホタルははなすことができないので「光」をつかってコミュニケーションをしています。

◎活動レポートフォトコンテスト

活動レポートと一緒にクラブから寄せられる写真を活用したフォトコンテスト(協賛:ケニス)を3期に分けて実施・表彰して、活動報告の投稿を促すとともに、受賞作品を広報資料に掲載するなど写真を活用して元気に活動する子どもたちの様子をアピールしました。

○2019年度 入賞作品(抜粋)



■第1期ケニス賞

まきのはら水辺の楽校 (静岡県牧之原市)
「落葉堆肥内生物調査と赤カエルの卵塊観察」



■第3期こどもエコクラブ賞

ガクアジサイクラブ(愛知県名古屋市)
「『碧筒杯』を初体験！」

◎新人賞、皆勤賞

毎月1回、その月に初めて活動レポートを投稿してくれたクラブの中から抽選で1クラブに「活動レポート新人賞」を贈呈しました(協賛:バンダイナムコホールディングス)。

また、新たに活動レポート皆勤賞を設け、季節ごとに1回以上(合計4回以上)活動レポートを送ってくれた27のクラブを称えました。

フォトコンテスト及び新人賞、皆勤賞は、より多くのクラブから活動レポートを投稿してもらうことをねらって実施しているものです。今年度の投稿クラブ数は119でした。

(4)企業との協働推進

◎企業からの支援

2019年度も様々な企業・団体様に子どもエコクラブとの連携・協力活動を実施していただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターやコーディネーター(地方自治体の子どもエコクラブ担当者)に活動の周知を図り、多くの子どもたちに参加していただいたほか、活動を通して企業とクラブとの新たなつながりも生まれました。

【環境活動・イベント】



三菱電機 親子で楽しむ! みつびしでんき
野外教室(千葉県市川市)



宝酒造 エコの学校「ガラスカレットで
アート作り」(神奈川県藤沢市)



イオンワンパーセントクラブ 壁新聞講座
(東京都、神奈川県、新潟県)



フロントコーポレーション 大房岬自然公園
災害復旧支援活動(千葉県南房総市)

【コンクール等の実施】



GS ユアサ
「小学生 ECO 絵画コンクール」



ジャパンビバレッジエコロジー
「ぼくとわたしのリサイクル作文
コンクール」



JBRC「小型重点式電池リサイクル
クイズキャンペーン 2019」

【アシストプログラム】

パートナーになっていただいている企業・団体、地域事務局の自治体が有する環境学習教材やプログラム等を「アシストプログラム」としてウェブサイトで紹介しています。

アシストプログラム一覧(2020年3月現在)

区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	滋賀県大津市	環境学習サポーター	大津市内
	キリン	キリングループ×「環境マークプログラム」 コラボプロジェクト	全国
	三井住友銀行	環境情報誌 JUNIOR SAFE	全国
体験・学習 プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	エフピコ	使用済みトレーの選別センター・リサイクル 工場見学等	センター・工場 の近隣地域
	キリン	工場見学ツアー(全7ヶ所)	工場の近隣地 域
	グリーンサイクル	家電製品のリサイクル工場見学	岐阜県・愛知 県・三重県
	ジャパンビバレッジホー ルディングス	ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール	埼玉県近郊
	三菱電機	キッズのためのエコのわくせい	全国
体験・学習 イベント	オリンパス	未来に残したい海！プロジェクト ネイチャ ースクール	全国から参加 可能
	東京国際フォーラム	ホップ！ステップ!!2020!!!～丸の内キッズジ ャンボリースペシャル版	首都圏
	リトルスタジオインク	プログラミングで海のSDGs！～海と日本 プロジェクト～	全国から参加 可能

区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
各種コンクール	イオンワンパーセントクラブ	中学生「食」の作文コンクール	全国
	出光興産	環境フォト・コンテスト[わたしのまちの〇と×]	全国
	SG ホールディングス	全国エコ絵画コンクール	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	小学生 ECO 絵画コンクール	全国
	日本印刷産業連合会 グリーンプリンティング事務局	「印刷と私」エッセイ・作文コンテスト	全国
	ブリヂストン	こどもエコ絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	ミツバチの一枚画コンクール ミツバチの絵本コンクール ストーリー部門	全国

(5) 他団体のイベント・キャンペーン情報の提供

このほか、様々な団体が実施するイベントやキャンペーンの情報をウェブサイトやメールマガジンで発信しました。このような情報提供はクラブに役立つだけでなく、主催する団体にこどもエコクラブのことも知ってもらい良い機会にもなっています。

ウェブサイト掲載日	主催組織・団体	プログラム名
2019年4月1日	環境省・日本財団	海ごみゼロウィーク
2019年6月12日	日本 educe 食育総合研究所	お米と健康に関する目からウロコの食育セミナー
2019年6月14日	立教大学 ESD 研究所	としまグリーンキッズプロジェクト
2019年7月8日	環境省	地球温暖化防止活動環境大臣表彰
2019年7月19日	愛知県	エコアクションを題材としたマスコットキャラクター募集
2019年7月22日	環境省生物多様性センター	「いきものログ」種名調べ支援
2019年7月29日	日本水環境学会	水環境文化賞・みじん子賞募集
2019年7月30日	朝日新聞社	環境教材「地球教室」無料配布
2019年8月2日	地球温暖化防止全国ネット	脱炭素チャレンジカップ 2020
2019年8月21日	気候ネットワーク	未来をまもる子ども作文コンクール 2019
2019年8月21日	環境省	読本「森里川海大好き！」読書感想文コンクール 2019
2019年8月30日	環境省	地球温暖化防止コミュニケーター養成セミナー

ウェブサイト掲載日	主催組織・団体	プログラム名
2019年9月19日	日本自然保護協会	日本自然保護大賞 2020
2019年11月15日	環境省生物多様性センター	モニタリングサイト 1000
2020年2月5日	日本 educe 食育総合研究所	お米と健康に関する目からウロコの食育セミナー「お米のヒミツ」
2020年2月14日	国土交通省	身近な水環境の全国一斉調査
2020年2月17日	環境省	サポーター向けシンポジウム等(5件)

◎ステークホルダーミーティング

こどもエコクラブをご支援いただいている企業・団体と、文部科学省・消費者庁・環境省のみなさまにお集まりいただき「環境省 こどもエコクラブステークホルダーミーティング 2019」を実施しました。各省庁の環境教育関連の施策、企業・団体がやっている本事業への支援事例をご紹介いただいた後、企業・団体の SDGs への取り組み状況や課題などについてグループに分かれて意見交換を行いました。

【日時】2019年11月20日(水) 15:00～17:30

【会場】中央合同庁舎4号館 1階 123会議室

【主催】環境省、公益財団法人日本環境協会

【出席者】19企業・団体 26名、環境省 4名、文部科学省 1名、消費者庁 2名

こどもエコクラブアドバイザーボード・推進委員会等 4名、事務局 8名



環境省鎌形事務次官のご挨拶



企業・団体の活動紹介



グループディスカッション

◎Project-D

平成 23 年の東日本大震災で大きな被害を受けた森林や樹木の再生をテーマに、こどもエコクラブを始めとする全国の子どもたちが、①被災地復興のため心をついに協力する ②遺伝子の攪乱を防ぎ、生物多様に配慮した森林再生を行う ③子どもたちの環境、地域づくりへの理解を深めるとともに、事業に参加することもエコクラブのサポーターや企業担当者等の環境人材の育成を図ることを目的した事業を、平成 23 年度から実施しています。

2019 年度は、これまでに植樹をした福島県郡山市、宮城県東松島市、岩手県北上市において、苗木の健全な成長を助けるため、下草刈りや枝打ちなどの育林活動を行いました。



福島県郡山市での枝打ち作業

(5) All Japan Youth Eco-club

環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、こどもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワークとして発足しました。こどもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

◎「ユースが行く！」連載

ユースが自分のクラブの枠を越えて、他のクラブを取り入れて活動を紹介したり、自身が実行・参加したエコ活動の報告をしたりする記事「ユースが行く！！」を 4 回、ウェブサイトに掲載しました。



◎全国フェスティバル実行委員会

ユース自身の発案により、全国フェスティバルの企画・運営により主体的に企画し、現役メンバーの先輩としてイベントを盛り上げる実行委員を今年度初めて募集しました。2 月には第 1 回の打ち合わせを行い、オープニングの企画や当日の役割分担について話し合いました。残念ながら今年度は中止となりましたが、来年度からの本格的な活躍が期待されます。



◎環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ

(1) 地域活動活性化

◎サポーター交流会

クラブのメンバーが意欲を持って活動し、ステップアップしていくためには、日頃から子どもたちを支えてくださっているサポーターへの働きかけが重要です。P.8で紹介した佐賀県とこどもエコ広場新宿のほか、岩手県でも事務局がサポーター交流会を開催してくださいました。

各地のこどもエコクラブで活動する子どもたちの成長を支える柱となるのがクラブのサポーターです。全国事務局ではこれからも、サポーターのみなさんのスキルアップや交流の機会を提供していきます。

◎こどもエコクラブ交流会

埼玉県事務局では毎年12月にこどもエコクラブを中心とした交流イベント「SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェスティバル」を開催していただいています。今年も県内から集まった7つのクラブが一年間の活動発表を行い、来年への決意を表明してくれました。



高階北こどもエコクラブ

この他にも多くの自治体がこどもエコクラブの交流会を開催してくださいました(P.32 参照)。群馬・大阪の交流会には、企画段階からサポーターが参加しています。

◎コーディネーター説明会

身近なところでクラブを支えてくださるコーディネーター(地方自治体の担当職員)を対象とした事業説明会を今年度も実施しました。また、三重県では「こどもエコクラブ市町研修会」として、県内市町の担当者を集めて開催してくださいました。

事業におけるコーディネーターの役割、こどもエコクラブを自治体の環境施策に活かすポイントのほか、地方自治体においてもニーズが高まっているSDGsにもこどもエコクラブを推進することで対応できることをアピールしました。また、各自治体の環境施策の現状や課題についてグループで話し合う時間も設け、悩みを共有しながら解決へのヒントを得られるよう工夫しています。



三重県
こどもエコクラブ市町研修会



コーディネーター説明会

(2)全国規模での交流と顕彰

◎全国エコ活コンクール

子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を企画し、全国のクラブに対しては活動をまとめた壁新聞を、個々のメンバーに対しては絵日記を募集しました。

子どもたちが作成した壁新聞・絵日記を「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、有識者、各省庁担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行い、壁新聞の環境大臣賞、文部科学大臣賞、消費者庁長官賞、日本環境協会賞、協賛企業賞、絵日記の優秀賞等を選定しました。

■募集概要

- 募集期間:2019年10月1日～2020年1月9日
- 対象:全国のこどもエコクラブ
- 仕様:壁新聞—模造紙大またはA2サイズ、縦横自由
絵日記—A3サイズ、縦
- その他:複数枚の応募可能

■募集結果

- 壁新聞 応募数:164枚(前年比+7枚)
- 絵日記 応募数:380枚(前年比+140枚)

■審査結果

- 受賞壁新聞・絵日記 P.39 参照

◎アースレンジャー認定証の授与

子どもたちの活動を称える「アースレンジャー認定証※」を作成し、1年間に5回以上の活動を報告したメンバー(2,013名)に授与しました。

また、3年間継続活動をしているメンバー(258名)には銀バッジを、6年間継続活動をしているメンバー(52名)には、金バッジを授与しました。

※年間5回以上の活動報告を行い、申請があったメンバーに授与。



◆環境大臣賞(壁新聞)



認定証/金・銀バッジ

◎「こどもエコクラブ全国フェスティバル」中止に伴う代替冊子の制作

こどもエコクラブでは毎年 3 月に、各地域で子どもたちが展開している活動を紹介して、環境保全活動の定着・拡大を促し、環境人材の育成を図ることを目的として、全国フェスティバルを企画・実施しています。本年度も活動をまとめた壁新聞をもとにフェスティバルに参加する都道府県代表クラブを選定し準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの影響により、残念ながら中止となってしまいました。

そこで、少しでも全国フェスティバルに参加している気分を味わってもらおうと、参加予定だったクラブの作品とその作品に込めた子どもたちの想いを、環境省をはじめとする省庁や企業・団体からの子どもたちへのメッセージとともにとりまとめた冊子「紙上・全国フェスティバル 2020」を作成しました。



(2) 他団体からの表彰

2019 年度も、多くのクラブがコンクールで受賞したり、長年の活動を評価されて表彰を受けたりしました。その一部をご紹介します。

都道府県名	市区町村名	クラブ名	賞名	主催者/コンクール名
福島県	小野町	特定非営利活動法人小野自然倶楽部	最優秀賞(県知事賞)	福島県林業グループ等活動発表会
茨城県	水戸市	逆川こどもエコクラブ	文部科学大臣賞・オーディエンス賞	脱炭素チャレンジカップ 2020
新潟県	魚沼市	三ツ星エコクラブ	最優秀賞	未来をまもる子ども作文コンクール 2019
静岡県	御殿場市	チーム YKM	地球となかよし大賞	教育出版 地球となかよしメッセージ
三重県	津市	なひがんばる隊	津市環境功労者表彰	津市
滋賀県	大津市	TANAKAMI こども環境クラブ	入選	いい川・いい川づくりワークショップ
滋賀県	草津市	エコアイデアキッズびわ湖	【たべよう部門】入賞	生物多様性アクション大賞 2019
滋賀県	甲賀市	山内エコクラブ	準グランプリ・森清和賞	いい川・いい川づくりワークショップ

都道府県名	市区町村名	クラブ名	賞名	主催者/コンクール名
滋賀県	甲賀市	甲賀市立油日小学校	文部科学大臣賞	全国学校・園庭ピオトー プコンクール 2019
大阪府	大阪市	大阪市立新北島中学校 科学技術部	優秀成果賞	河川財団 河川基金研究 成果発表会
大阪府	大阪市	大阪市立新北島中学校 科学技術部	最優秀賞	サイエンスキャッスル関 西大会
大阪府	高槻市	高槻市立第六中学校・自 然観察同好会	佳作	大阪府学生科学賞
大阪府	高槻市	高槻市立第六中学校・自 然観察同好会	社会・文化賞	日本水環境学会関西支 部表彰
大阪府	守口市	ぼぼっぼクラブ	環境大臣賞	教育出版 地球となかよ しメッセージ
兵庫県	神戸市	玉ーアクアリウム	グランプリ・森清和賞	いい川・いい川づくりワー クショップ
広島県	江田島市	永田川カエル倶楽部	ひろしま環境賞	広島県
高知県	香美市	香美市こどもエコクラブ	【団体の部】審査委員 長特別賞 【個人の部】文部科学 大臣賞	「みどりの小道」環境日記 コンテスト
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	ジュニアキッズ部門 環境大臣賞	脱炭素チャレンジカップ 2020
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	銀賞	「みどりの小道」環境日記 コンテスト
鹿児島県	鹿児島市	西伊敷小学校	【団体の部】文部科学 大臣賞 【個人の部】グリーン クロスジャパン理事 長賞・銀賞	「みどりの小道」環境日記 コンテスト



地域事務局の取組事例

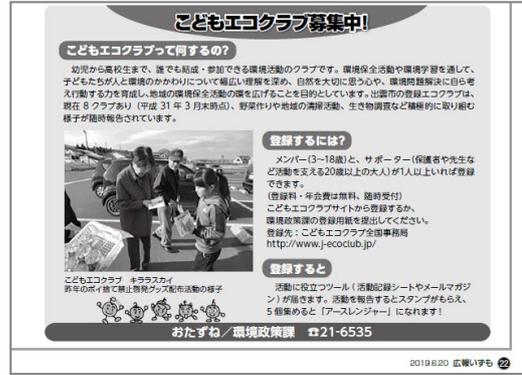
地域事務局においても、さまざまな形で子どもエコクラブを推進しています。

(1) 子どもエコクラブ関連記事(紹介・募集)の掲載

◆広報紙・ウェブサイト等



埼玉県新座市「広報にいざ」



鳥根県出雲市「広報いずも」



北海道釧路市 ウェブサイト



神奈川県 ウェブサイト



岡山県 ウェブサイト



長崎県佐世保市 ウェブサイト

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	—	埼玉県	所沢市	長野県	長野市	兵庫県	加古川市
北海道	札幌市	埼玉県	深谷市	長野県	松本市	奈良県	奈良市
北海道	函館市	埼玉県	戸田市	長野県	岡谷市	和歌山県	—
北海道	小樽市	埼玉県	朝霞市	長野県	茅野市	鳥取県	—
北海道	室蘭市	埼玉県	新座市	長野県	佐久市	島根県	—
北海道	釧路市	埼玉県	久喜市	長野県	千曲市	島根県	松江市
北海道	北見市	埼玉県	吉川市	岐阜県	岐阜市	島根県	浜田市
北海道	網走市	埼玉県	寄居町	岐阜県	可児市	島根県	出雲市
北海道	羽幌町	千葉県	—	静岡県	—	岡山県	—
青森県	—	千葉県	市川市	静岡県	浜松市	岡山県	倉敷市
青森県	青森市	千葉県	船橋市	静岡県	沼津市	岡山県	井原市
青森県	八戸市	千葉県	佐倉市	静岡県	富士市	岡山県	浅口市
岩手県	—	千葉県	習志野市	静岡県	藤枝市	広島県	—
岩手県	盛岡市	千葉県	市原市	静岡県	湖西市	山口県	—
岩手県	遠野市	千葉県	八千代市	愛知県	—	山口県	宇部市
岩手県	雫石町	千葉県	香取市	愛知県	岡崎市	山口県	山口市
宮城県	—	東京都	中央区	愛知県	一宮市	山口県	岩国市
宮城県	石巻市	東京都	新宿区	愛知県	半田市	愛媛県	今治市
宮城県	気仙沼市	東京都	江東区	愛知県	春日井市	愛媛県	西条市
宮城県	多賀城市	東京都	中野区	愛知県	豊田市	高知県	—
宮城県	利府町	東京都	豊島区	愛知県	犬山市	福岡県	—
秋田県	—	東京都	北区	愛知県	江南市	福岡県	北九州市
秋田県	秋田市	東京都	練馬区	愛知県	小牧市	福岡県	筑紫野市
秋田県	横手市	東京都	足立区	愛知県	稲沢市	福岡県	春日市
秋田県	由利本荘市	東京都	八王子市	愛知県	日進市	福岡県	大野城市
山形県	—	東京都	武蔵野市	愛知県	東浦町	福岡県	太宰府市
福島県	—	東京都	調布市	三重県	—	福岡県	朝倉市
福島県	福島市	東京都	町田市	三重県	津市	佐賀県	—
福島県	会津若松市	東京都	稲城市	三重県	松阪市	佐賀県	佐賀市
福島県	いわき市	神奈川県	—	三重県	鳥羽市	長崎県	—
茨城県	—	神奈川県	横浜市	三重県	志摩市	長崎県	長崎市
茨城県	日立市	神奈川県	相模原市	滋賀県	—	長崎県	佐世保市
茨城県	北茨城市	神奈川県	横須賀市	滋賀県	大津市	長崎県	大村市
茨城県	ひたちなか市	神奈川県	平塚市	滋賀県	草津市	熊本県	—
栃木県	—	神奈川県	藤沢市	京都府	木津川市	熊本県	八代市
栃木県	宇都宮市	神奈川県	茅ヶ崎市	大阪府	—	熊本県	人吉市
栃木県	栃木市	神奈川県	大和市	大阪府	堺市	大分県	—
栃木県	真岡市	神奈川県	綾瀬市	大阪府	高槻市	大分県	大分市
栃木県	那須烏山市	新潟県	—	大阪府	茨木市	宮崎県	—
群馬県	—	新潟県	長岡市	大阪府	寝屋川市	宮崎県	宮崎市
群馬県	前橋市	新潟県	柏崎市	大阪府	大東市	宮崎県	都城市
群馬県	高崎市	富山県	—	大阪府	東大阪市	鹿児島県	—
群馬県	伊勢崎市	富山県	高岡市	大阪府	交野市	鹿児島県	鹿児島市
群馬県	太田市	石川県	金沢市	大阪府	阪南市	鹿児島県	指宿市
埼玉県	—	福井県	—	兵庫県	神戸市	鹿児島県	霧島市
埼玉県	さいたま市	福井県	永平寺町	兵庫県	姫路市	沖縄県	—
埼玉県	川越市	山梨県	—	兵庫県	尼崎市	沖縄県	那覇市
埼玉県	川口市	長野県	—	兵庫県	伊丹市	沖縄県	浦添市

(2) 地域クラブのメンバー募集と運営



栃木県宇都宮市 クラブページ



東京都荒川区 クラブページ

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	北見市	東京都	中央区	長野県	松本市	滋賀県	守山市
福島県	福島市	東京都	新宿区	長野県	岡谷市	京都府	木津川市
福島県	会津若松市	東京都	杉並区	長野県	飯田市	大阪府	大阪市
茨城県	龍ヶ崎市	東京都	荒川区	静岡県	三島市	兵庫県	神戸市
栃木県	宇都宮市	東京都	板橋区	静岡県	富士市	兵庫県	相生市
群馬県	前橋市	東京都	立川市	静岡県	藤枝市	兵庫県	たつの市
埼玉県	坂戸市	東京都	調布市	愛知県	豊田市	広島県	福山市
千葉県	市川市	神奈川県	相模原市	愛知県	長久手市	沖縄県	南風原町
千葉県	習志野市	神奈川県	藤沢市	滋賀県	大津市		

(3) ニュースレターの発行



岩手県
子どもエコクラブ NEWS いわて



新潟県子どもエコクラブ
サポーターズニュース

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
岩手県	—	群馬県	—	福岡県	春日市
栃木県	—	新潟県	—		

(4)交流会等 環境イベントの開催



群馬県
こどもエコクラブ交流会



埼玉県川越市
こどもエコクラブ研修会



静岡県富士市
こどもエコクラブ交流会



岐阜県岐阜市
こどもエコクラブ発足式



広島県広島市
こどもエコクラブ交流会



福岡県
こどもエコクラブ京築生きもの探検隊

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	函館市	埼玉県	—	滋賀県	—	福岡県	—
北海道	釧路市	埼玉県	川越市	滋賀県	草津市	福岡県	春日市
青森県	—	埼玉県	越谷市	大阪府	—	佐賀県	—
岩手県	—	千葉県	市川市	大阪府	大阪市	熊本県	—
岩手県	奥州市	神奈川県	相模原市	兵庫県	神戸市	熊本県	八代市
秋田県	—	福井県	鯖江市	島根県	—	沖縄県	—
秋田県	由利本荘市	岐阜県	岐阜市	岡山県	—		
茨城県	—	静岡県	富士市	広島県	広島市		
群馬県	—	愛知県	豊田市	徳島県	阿南市		

(5)クラブへの助成金・物品支援・講師派遣等



埼玉県
こどもエコクラブ活動支事業助成金



佐賀県
「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」
による県内こどもエコクラブへの支援

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
岩手県	—	福井県	永平寺町	鳥取県	—	熊本県	—
秋田県	—	長野県	—	鳥取県	北栄町	大分県	—
栃木県	—	静岡県	藤枝市	山口県	山口市	宮崎県	—
埼玉県	—	滋賀県	—	高知県	—	鹿児島県	—
千葉県	市川市	京都府	木津川市	福岡県	—	沖縄県	—
東京都	練馬区	兵庫県	神戸市	佐賀県	—		
福井県	—	奈良県	—	長崎県	—		

(6)こどもエコクラブ活動報告書等の発行・配布



北海道函館市



秋田県



埼玉県川越市

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	函館市	茨城県	—	埼玉県	川越市	三重県	—
秋田県	—	群馬県	—	埼玉県	越谷市	福岡県	—

協賛・協力いただいた企業・団体

本事業の実施・運営に関して、様々な企業・団体の皆さまからの支援・連携を募り、「パートナー」「寄附」等により実施・運営を行っております。

■パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）（56社）

アース製薬	アマノ	イオンリテール	イオン1%クラブ
出光興産	SGホールディングスグループ(佐川急便)	エフピコ	塩ビ工業・環境協会
王子ホールディングス	教育出版	共立理化学研究所	キリン
グリーンクロスジャパン	グリーンサイクル	ケニス	ジーエス・ユアサバッテリー
JTB	JBRC	シミズオクト	清水建設
ジャパンビバレッジグループ	住商フーズ	3R活動推進フォーラム	タカラトミー
宝ホールディングス	鉄建建設	東京国際フォーラム	東京建物
DOWA エコシステム	トヨタ自動車	西日本ビル代行	日本印刷産業連合会・グリーンプリンティング認定事務局
日本CCS調査	日本容器包装リサイクル協会	長谷工コーポレーション	バンダイナムコホールディングス
ブリヂストン	文化シヤッター	HOYA アイケアカンパニー	マツモトキヨシホールディングス
ミールケア	三井化学	三井住友海上火災保険	三井住友銀行
三菱地所	三菱地所設計	三菱地所ホーム	三菱地所リテールマネジメント
三菱地所レジデンス	三菱電機	山田養蜂場	リード
リソー教育グループ	リトルスタジオインク	龍角散	Render

■寄附

【企業・団体】

イオンファンタジー	INNER ENERGY TECH. INC.	こくみん共済coop〈全労済〉	サントリーホールディングス
積水化学工業	大和ハウス工業	プロントコーポレーション	マインズ農業協同組合
レッドキャベツ			

【個人・その他】

Tポイントジャパン	つながる募金	古本募金 (団体延べ4、個人延べ16)
-----------	--------	------------------------

この他、匿名希望の7名様からご寄附をいただきました。

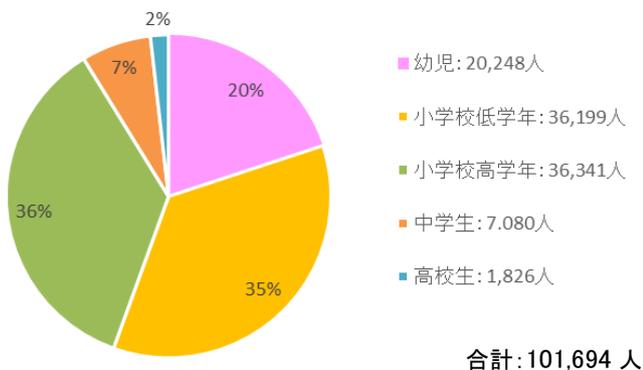
登録データほか

■ 2019 年度都道府県別登録データ

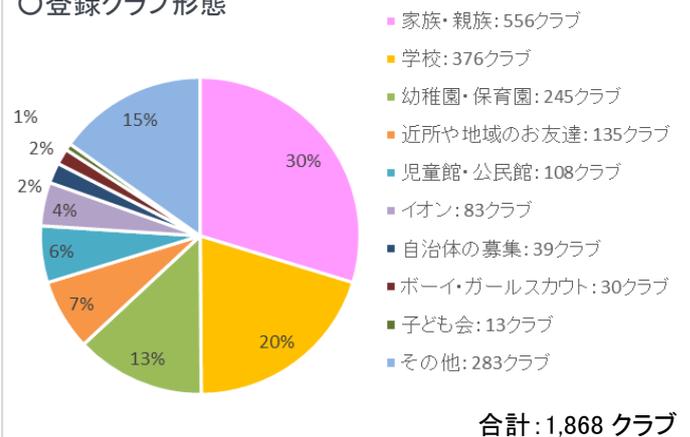
県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	25	736	142
青森県	31	1,478	288
岩手県	27	692	223
宮城県	13	2,401	285
秋田県	35	2,862	563
山形県	2	24	6
福島県	6	511	66
茨城県	40	1,953	387
栃木県	35	3,127	597
群馬県	52	1,221	281
埼玉県	131	14,358	1,763
千葉県	77	3,654	494
東京都	92	8,281	871
神奈川県	66	1,023	530
新潟県	30	1,191	140
富山県	44	1,321	234
石川県	11	360	129
福井県	32	1,488	146
山梨県	4	149	16
長野県	21	950	183
岐阜県	41	1,585	120
静岡県	74	3,010	507
愛知県	62	3,926	604
三重県	66	10,978	367

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	82	5,541	470
京都府	11	230	73
大阪府	47	1,109	293
兵庫県	230	2,564	736
奈良県	7	189	28
和歌山県	5	88	24
鳥取県	50	4,968	1,891
島根県	12	500	187
岡山県	36	3,834	473
広島県	45	961	182
山口県	12	211	62
徳島県	4	276	37
香川県	4	52	26
愛媛県	4	83	15
高知県	11	38	36
福岡県	128	3,837	908
佐賀県	42	3,903	509
長崎県	21	1,050	133
熊本県	17	861	138
大分県	35	1,581	280
宮崎県	12	630	105
鹿児島県	20	1,298	171
沖縄県	16	611	111
合計	1,868	101,694	15,830

○登録メンバー 学年内訳



○登録クラブ形態



■2019年度 地域事務局登録一覧（47都道府県 474市区町村）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	三笠市	伊達市	石狩市	羽幌町		
青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						
宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町	
秋田県	秋田市	横手市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市	
山形県	酒田市	新庄市					
福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					
茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					
栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	
群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	渋川市
	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町	片品村	川場村
	昭和村	みなかみ町	千代田町	大泉町			
埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	深谷市	上尾市	草加市	越谷市
	戸田市	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市
	富士見市	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市
	三芳町	小川町	吉見町	寄居町	宮代町		
千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					
東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	葛飾区	江戸川区
	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	調布市
	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市		
神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市
	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市			
新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	十日町市	糸魚川市	妙高市
	上越市	阿賀野市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	粟島浦村	
富山県	高岡市	魚津市	砺波市				
石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町			

福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町
-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

山梨県	甲府市	都留市
-----	-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	伊那市
	茅野市	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町		

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町	垂井町				

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲郡市	江南市	稲沢市
	日進市	東浦町	南知多町				

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	多賀町
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市
-----	-----	-----	------	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	泉大津市	高槻市	守口市	枚方市
	茨木市	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市	和泉市	箕面市
	高石市	東大阪市	交野市	阪南市	熊取町		

兵庫県	神戸市	姫路市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	相生市	加古川市
	宝塚市	篠山市	たつの市				

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市
-----	-----	-----	-----	-----

岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町
-----	-----	-----	-----	-----	-----

広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市
-----	-----	----	-----	-----	-----	------

山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
	平生町						

徳島県	徳島市	阿南市
-----	-----	-----

香川県	高松市	東かがわ市
-----	-----	-------

愛媛県	松山市	今治市	西条市
-----	-----	-----	-----

高知県	室戸市
-----	-----

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	行橋市
	小郡市	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	福津市
	嘉麻市	朝倉市	宇美町	志免町	桂川町	香春町	

佐賀県	佐賀市	唐津市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	江北町
-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市
-----	-----	------	-----	-----	-----	------

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	宇土市	山鹿市
	上天草市	天草市	南小国町	益城町	山都町	芦北町	あさぎり町

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町
-----	-----	-----	-----	------

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	始良市
	大崎町	瀬戸内町					

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					

● 全国エコ活コンクール 受賞作品

■ 壁新聞部門

環境大臣賞



タイトル:「海の森へようこそ」
南三陸少年少女調査隊(宮城県南三陸町)

文部科学大臣賞



タイトル:「熊本大地の底力
~広西湧き水再生プロジェクト~」
広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)
(熊本県益城町)

消費者庁長官賞



タイトル:「ぼくたち わたしたち はじめてのエコ!」
オホーツクエコクラブ(北海道北見市)

こくみん共済 coop 賞



タイトル:「西表山猫新聞NO.23」
西表ヤマネコクラブ(沖縄県竹富町)

サントリーホールディングス賞



タイトル:「森を守り 水を守り 生きものを守りたい」
せいわエコクラブ(大阪府大阪市)

タカラトミー賞



タイトル:「わたしたちとたんぶり池の仲間たち」
HEP21エコクラブ(青森県弘前市)

日本環境協会賞



タイトル:「三ツ星エコ新聞～魚沼市の未来のための環境対策について考える～」
三ツ星エコクラブ(新潟県魚沼市)

幼児部門「ミールケア・エコまる賞」



タイトル:「ぼくらはエコ探検隊～ゴミひろいをしよう～」
草津市立常盤幼稚園(滋賀県草津市)

地球のワクワク！ 発見しよう

こどもエコクラブ

私が主役！ なかまと一緒に未来をつくる

こどもエコクラブは、子どもたちが地域で行う継続的な環境活動・学習のクラブです。仲間と一緒に、身近な場所で活動を積み重ねながら、自主的に人と環境とのかかわりを学びます。

■子どもたちの「ワクワク！」を応援します

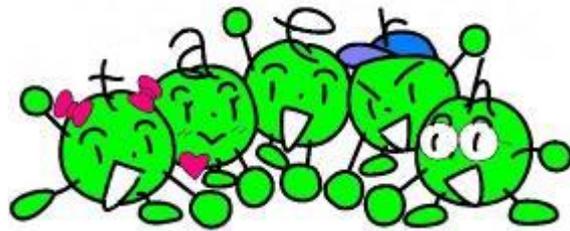
子どもたちが、自然への興味関心をきっかけに、自然を守ることが地球にとって大切なだけでなく、人間の生活にとっても大切であることを知る環境活動・学習を支援します。身の回りの自然からさまざまな発見をし、他の生物同様、生態系の一部である人間の生活に応用することができる。そんな能力を身につけながら育ちます。

■子どもたちの「生きる力」を育みます

子どもたちが、エコ活動の意味を本質的に理解できる機会をつくと共に、なかまと一緒に活動することを支援します。身の回りの出来事や定見から、現在の社会とのギャップを自ら見つけ出すことで、未来の理想的な社会と将来の自分を重ね合わせ、社会的な課題を解決できる大人になる。そんな大きな目標を心に宿して育ちます。

■子どもたちの「地域を愛する心」を培います

子どもたちの、身近な地域の身近な自然を大切に思う、思いやりの心を育むことを支援します。身の回りの自然からの発見を重ねることで、感受性豊かな子どもたちは、自分のまちのすばらしさを感じ、探求し、愛し、主体的に守ろうとする。そんなまちの博士へと育ちます。



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5
TMMビル 5階
TEL 03-5829-6359 E-mail j-ecoclub@jeas.or.jp